

# 令和6年度 林業普及週間現地情報 (11/11~11/15)

森林管理課

Ⅱ 齢級の人工林における適正施肥量の把握について

11月18日(月)

森林資源研究センターにおいて、令和6～8年度の期間での「Ⅱ 齢級の人工林における適正施肥量の把握」に関する試験研究が開始し、試験地が宮古島市有林に設置されている。今回、森林資源研究センターから、合田研究員外1名が来島し、試験木のナンバリング、樹高、地際径または胸高直径の測定、施肥作業を行った。

試験地は、①令和4年度植栽：テリハボク（3年生）と②令和元年度植栽：イヌマキ（6年生）に設定した。①については、試験地選定にあたり宮古島市と調整の中で、テリハボクのⅠ 齢級人工林も試験してほしいという要望があったため、試験地として設定した。

1 試験地当たり 300 本程度の調査および施肥作業を実施した。今後は、毎年同様の作業を実施し、適正な施肥量の把握につながるデータの収集に努めていく。

今後も、森林資源研究センターおよび宮古島市と協力しながら造林施業に関する技術の普及を図っていきたい。



試験地①での作業状況



試験地②での作業状況

(報告者：宮古農林水産振興センター 山城)